

教員名	福間 聡	所属学科	地域政策
【ゼミでは何を学ぶのか】 私の専門は社会哲学・倫理学です。本ゼミでは、様々な哲学・倫理学文献をゼミ生と共に読み解き、その中で論じられている問題について熟議します。中心的なテーマは「コミュニティにおける正義」であり、このテーマに関連する諸問題、マクロには国家間の正義であるグローバル・ジャスティス（途上国への援助、移民の受け入れ、人道的介入、正戦論）や一国内での財の再分配の問題、またミクロには医療資源の適正な分配や雇用の確保、所得の無条件的最低保障や教育に対する平等の機会といった問題を検討します。			
【どのように学ぶのか】 ゼミでは社会的・公共的な問題について哲学的・倫理的に考察している文献を読み解きながら、いかなる社会が望ましいのか、現代社会の一員としていかに私たちは考え・行動すべきなのかについて吟味します。 授業の進め方は以下の通りです。 ①選択したテキストの輪読 ②レジメ担当者による担当部分の考察・発表 ③レジメ担当者以外のゼミ生のコメント ④ゼミ全体による討議 2,3年次共に、上記の問題について論じている文献を輪読し、3年末までには卒業論文のテーマを各自選択する。そして4年次前期には各自選択したテーマに基づいて研究発表してもらい、後期には卒業論文の完成を目指します。 さらに長期休暇中には学外授業として博物館や美術館等の見学、またゼミ生からの希望があればゼミ合宿なども行います。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 ゼミでは社会的な諸問題を批判的に考察し、議論することを学ぶため、どのような職業に就くとしても生かすことができます。ゼミ生の卒業後の進路としては、公務員、金融、出版・報道、商社、建設、不動産、食品、SEなど多様な職種に就職しています。			
【おすすめの入門書・基本テキスト】 野矢茂樹・編著『こどもの難問』（中央公論新社 2013）			
【まだ見ぬ君へのメッセージ】 受験勉強の中でも、国語の教科書や小論文、英語の長文の試験で出題される文章から新しい書籍や思想に出会い、知識や関心が広がっていくこともあります。その中で人生を左右する出会いがあることに気付くことができれば、より一層学びに主体的に取り組めるようになると思います。			